

令和6年11月13日

甲府市長 樋口 雄一様

未来まで住み続けられる 甲府市に向けた気候変動対策 アンケートおよび提案

甲府ユース気候変動プロジェクト



甲府ユース気候変動
プロジェクト

アンケート概要

調査目的：甲府市民を対象に、気候変動の問題について、ヒアリングし、政治・行政等に声を届け、必要な対策等へつなげるために実施。

調査時期：令和6年4月17日～5月27日まで

調査方法：SNS等を通じたアンケート専用フォームへの回答

対象・回答者：甲府市在住 262名

回答者属性：

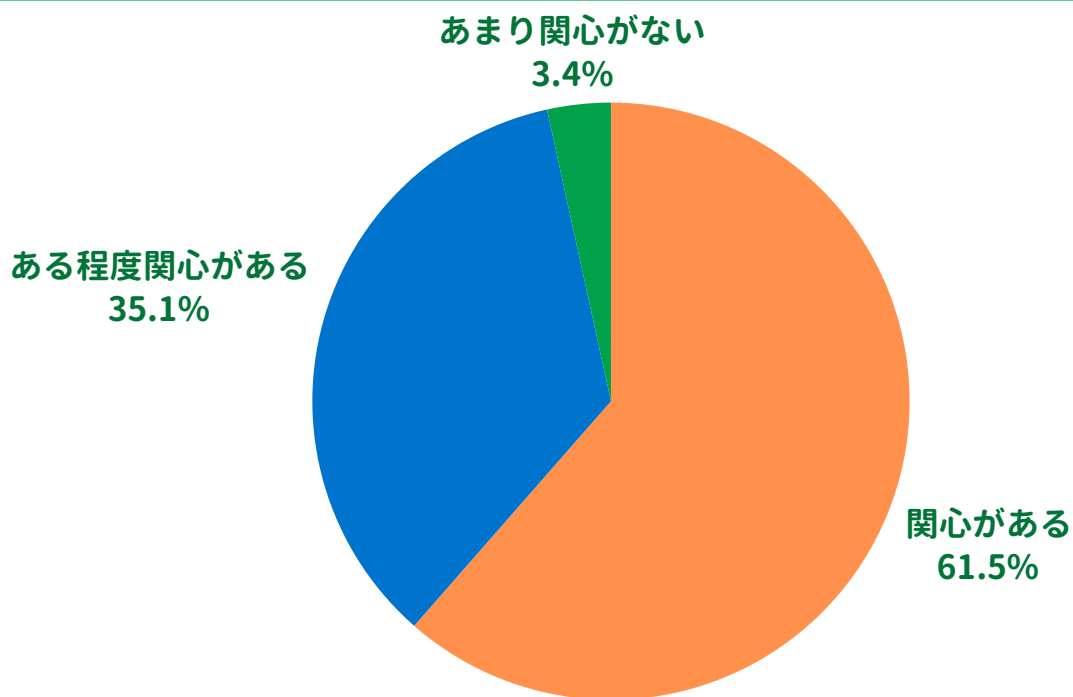
性別	人数（人）	比率（%）
男性	98	37.4
女性	163	62.2
未回答	1	0.4

年齢	人数（人）	比率（%）
10歳未満	1	0.4
10代	4	1.5
20代	20	7.6

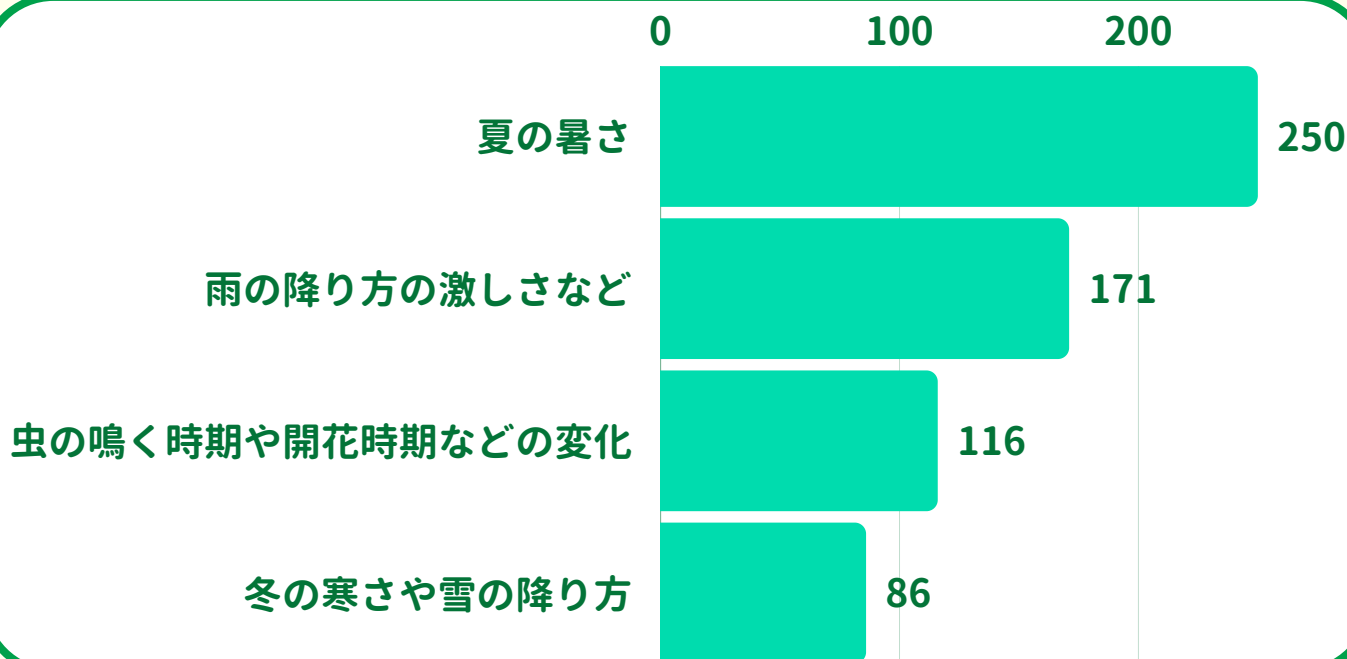
30代	33	12.6
40代	25	9.5
50代	67	25.6
60代	77	29.4
70代	30	11.5
80代以上	5	1.9
職業	人数（人）	比率（%）
勤め（全日）	94	35.9
勤め（パートタイム）	70	26.7
専業主婦・主夫	46	17.6
学生	8	3.1
無職	29	11.1
自営業	9	3.4
その他	6	2.3

気候変動に対する関心

あなたは、気候変動（地球温暖化等）に対して、どの程度関心を持っていますか。

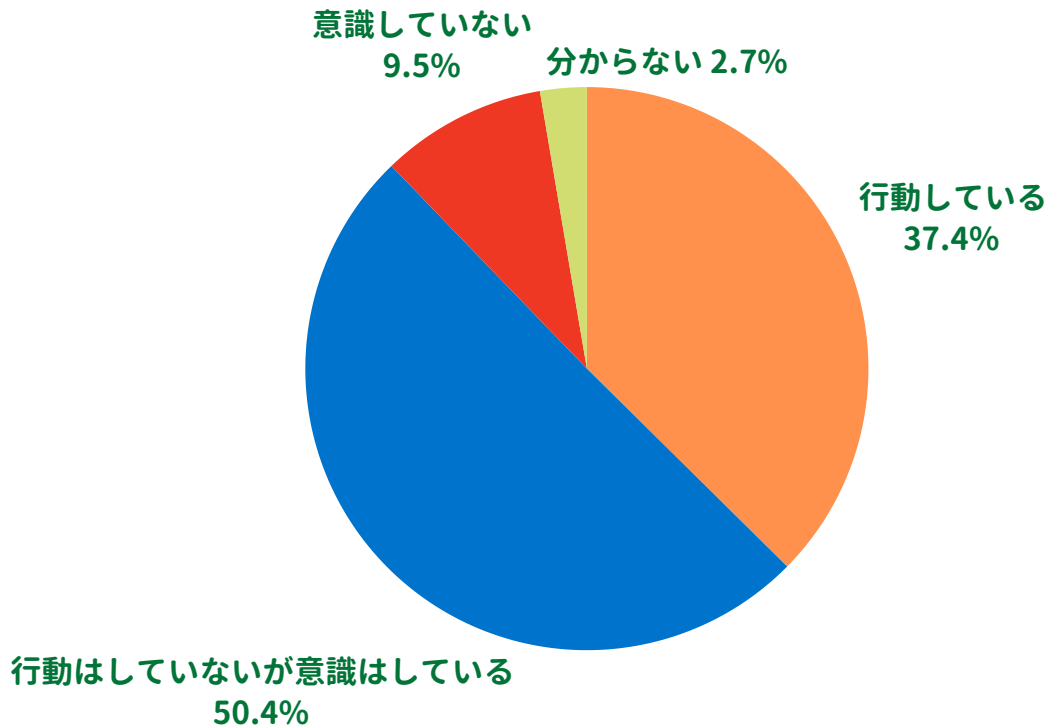


日常生活の中で、気候変動の影響を感じることは何ですか。
(複数回答可)



気候変動対策の取り組み

気候変動を解決するための行動をしている又は意識していますか。



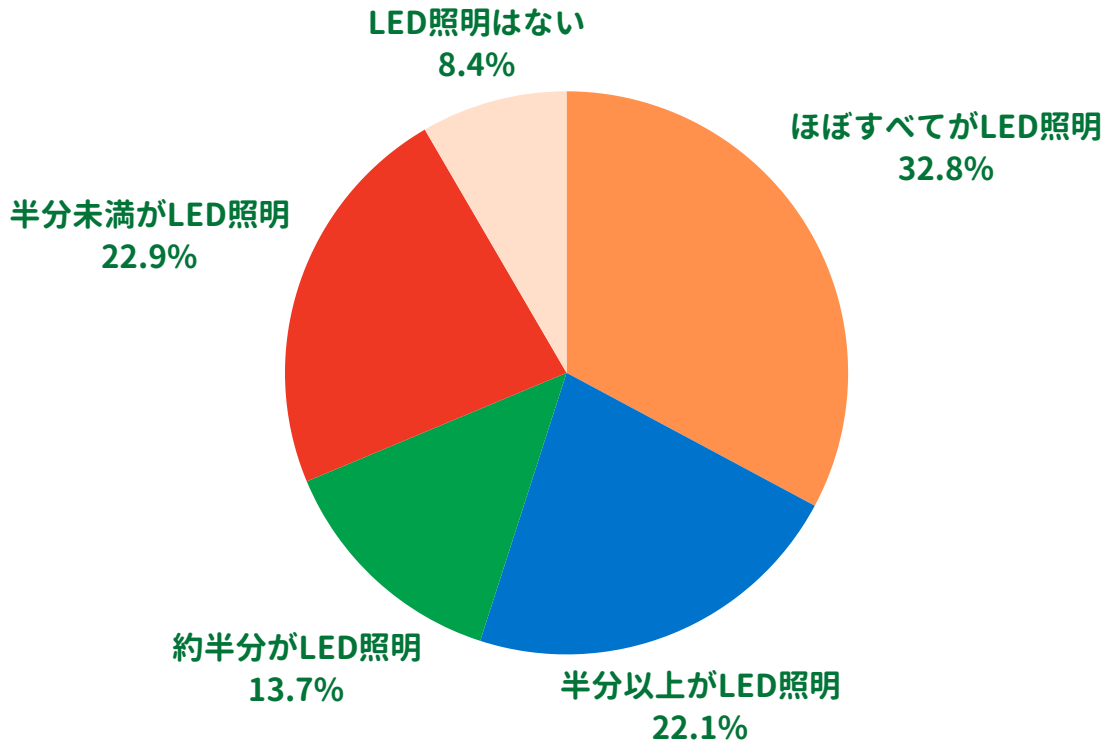
気候変動対策として、身近に取り組んでいることは何ですか。
(任意・複数回答可)



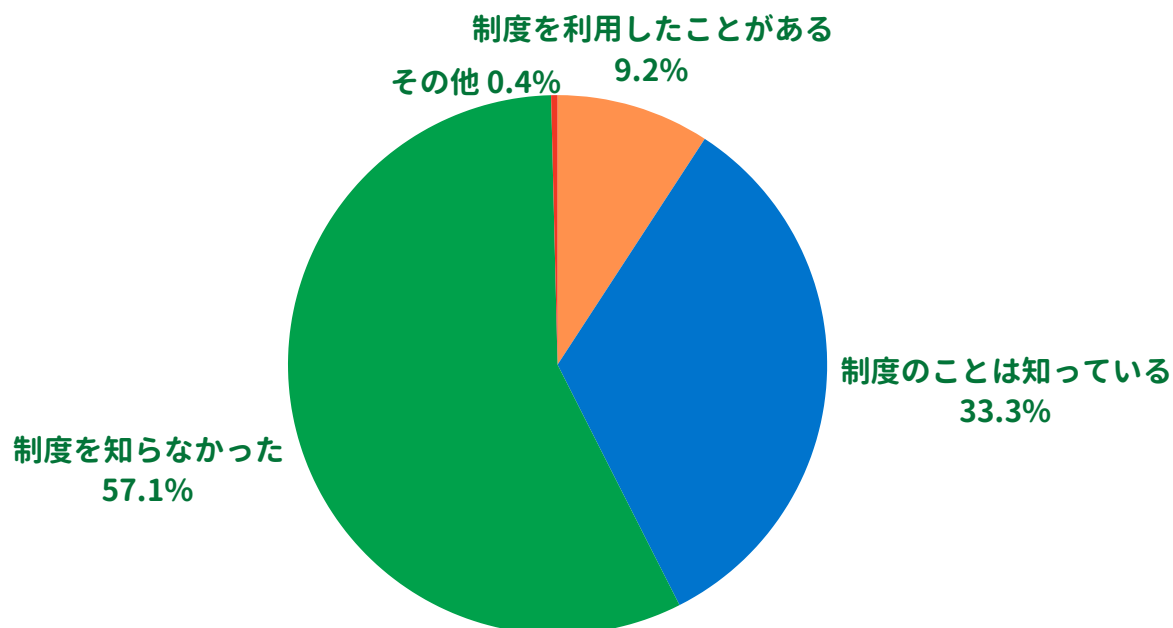
甲府市の温室効果ガス排出量を抑えるために、どのような取り組みが必要だと考えますか。



家庭におけるLED照明の使用率を教えてください。

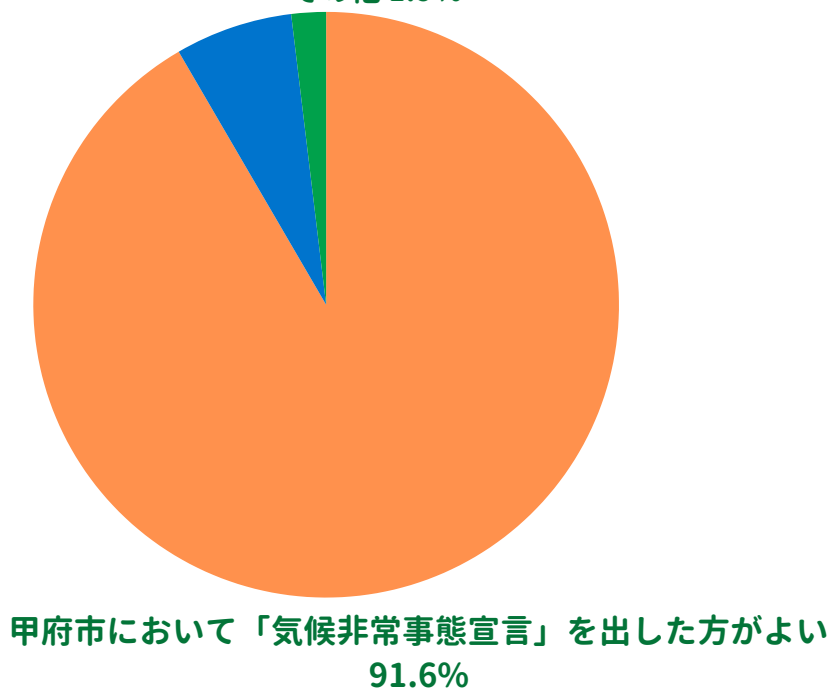


甲府市では、住宅への太陽エネルギー導入に対して支援する「クリーンエネルギー機器普及助成金制度」を設けています。本制度について教えてください。



他市において「気候非常事態宣言」を出しているケースがあります。甲府市でも宣言を出した方がよいと思いますか、出さなくてもよいと思いますか。

甲府市において「気候非常事態宣言」は出さなくてもよい



未来まで住み続けられる甲府市に向けた 気候変動対策の提案

甲府ユース気候変動プロジェクト

日本一を争う暑いまちの「甲府市」に住む市民にとって、気候変動は身近な問題です。例えば、集中豪雨の増加、野菜・果樹等の品質低下、熱中症の緊急搬送患者の増加など、今後さらなる生活への影響が懸念されています。

本プロジェクトとして、市民を対象に気候変動アンケートを実施（期間：2024.4.17～5.27）し、その中で寄せられた262名からの声や未来まで希望をもって甲府市に住み続けたい若者の意見を踏まえ、下記のとおり提案いたします。甲府市の気候変動対策に活かしていただくと幸いです。

記

- ①本プロジェクトの行ったアンケート結果で、気候変動対策に関し、「行動はしていないが意識はしている方」が5割に及び、そうした方々への「意識啓発の強化」を推進していただきたい。
- ②同アンケート結果で、市の温室効果ガス排出削減に必要な取り組みとして、8割の方が「個人の省エネ意識の向上」と回答したことを踏まえ、「身近にできる行動」をSNS等を通じ、発信していただきたい。
- ③同アンケート結果で、LED電球の使用が半分未満や使用していない方が3割に及んでいる結果を踏まえ、一般電球と比べて約9割の省エネ効果のある「LED電球の利用」を促進していただきたい。